

# ボランティア花壇づくり事業「えくぼの会」 【白島地区】

～花づくりを通じてまちも人も元気に～

【参加団体】 白島地区住民ボランティア、白島地区社会福祉協議会 など

地区の状況	<p>■平成27年にJR新白島駅及びアストラムライン新白島駅が開業。新たな交通結節点として、多くの来訪者の利用が見込まれる施設となることから、地域との協働による「花と緑にあふれる空間づくり」を目指し、駅構内の連絡通路に広島市がプランターを設置。</p> <p>■当初、プランターは花で彩られていたものの、地域で維持管理を行うことが次第に難しくなり、ほとんど活用されることなく、荒れた状態になっていた。</p>
取組内容	<p>令和3年10月、コロナ禍でも、できることから地域活動を再開しようと、かねてから検討していた「地域のボランティア活動団体の立ち上げ」に向け、白島地区社会福祉協議会の役員2名が「リーダー」となり、地区内の町内会・自治会に呼びかけ、ボランティアを募集。</p> <p>リーダーが個別に声かけも行き、40代から80代の幅広いメンバー19名が集まった。皆が「<b>にこっと笑顔になれる</b>」活動を願い、グループ名を「<b>えくぼの会</b>」と命名。</p> <p>活動の手始めとして、新白島駅構内の荒れたプランターの花づくりから行うこととし、リーダー・広島市・中区役所で、話し合いを重ね、同年11月、中区で実施する「ボランティア花壇づくり事業」を活用し、「えくぼの会」が主体となって、今後駅構内のプランターで、本格的に花苗の植え付け、維持管理に取り組むこととなった。</p> <div style="border: 2px solid #0070C0; border-radius: 15px; padding: 10px;"><p><b>🌸主な取組内容🌸</b></p><p>令和3年11月 秋冬の花苗の植え付け 令和4年5月 第1回目「えくぼの会」交流会開催、春夏の花苗の植え付け 令和4年7月 「えくぼの会」ラジオ出演で活動をPR 令和4年8月 第2回目「えくぼの会」交流会開催</p><p><b>🌸メンバーの声 ～活動のきっかけ・活動してみたの思い～🌸</b></p><ul style="list-style-type: none"><li>・「地域の役に立ちたい」「人とのつながりは大切にしたい」という思いがありました。</li><li>・自分が住んでいる地域が、良いまちになればいいなという思いから参加しました。</li><li>・災害を機に転居してきました。周りに知り合いがあまりおらず、活動を通じて知り合いが増えるといいなという思いがきっかけでした。</li><li>・もともと花に興味はなかったのですが、不思議なことに、花を見て喜んでくれている人の姿をみると、自然に活動しようと思いが動いてしまいます。</li><li>・メンバーと話すきっかけが増えたこともうれしいし、「花ってかわいいな」という気持ちが増えてきました。これからも楽しみながらやりたいです。</li><li>・今後、地域のもっと広い所へも目を向けて活動を広げていきたいと思っています。</li></ul></div>
活動による効果	<ul style="list-style-type: none"><li>●花づくりは屋外で密を避け実施でき、世代を問わず参加可能であるため、若い世代から高齢者まで幅広いメンバーが活動に関わることができている。</li><li>●毎年冬に新白島駅で開催される「白島いきいきまつり」にて、にぎわいを演出したほか、駅利用者からも、花のある空間を喜ぶ声が届き、メンバーのやりがいにつながっている。</li><li>●メンバーを班分けし当番を決めたり簡単な規約を作成する等の工夫により、負担なく活動が継続できており、定期的に交流会を実施し顔を合わせることで、交流が図れている。</li><li>●住民が主体でありながら、講師派遣や資材提供など、適宜行政の支援を利用することで「協働のまちづくり」が実践できている。</li></ul>
活用した支援制度 行政の支援	広島市都市交通部、中区地域起こし推進課、中区社会福祉協議会が適宜グループの活動に参加し助言。「ボランティア花壇づくり事業」により、区役所が花苗等の資材を提供。「緑化指導者派遣制度」を利用し、講師の助言、指導を受けた。



▲講師の先生から園芸の基本的な知識を学びながら、皆で楽しく植え付けを実施



▲2回目となる春夏の植え付けは、前回の経験を生かし、スムーズに作業が完了。花と緑の素敵な空間が生まれました



▲リーダーの2人がラジオ出演。今後の活動にも意欲的！

